

湯島のお土産 シーグラスアクセサリー

湯島小学校 5年

1. 調べたきっかけ

先生がここ数年の湯島の観光客数を表したグラフを見せてくれた。そのとき、湯島に来る観光客数がだんだん増えているのが気になった。そこで、湯島が人気になっているひみつは何か調べてみることにした。

2. 調べ方

大きく分けて、二つの方法で調べた。一つ目は、インタビューでの調査である。シーグラスアクセサリーを作っている森陽香さんに活動や思いを聞いた。二つ目はインターネットやSNSを使つての調査である。

3. 調べて分かったこと

「シーグラスアクセサリーづくり 森陽香さん」

(1) 活動内容

森さんは、シーグラスを湯島の海岸で拾って、シーグラスアクセサリーを作り、販売されている。シーグラスとは、ガラスびんなどの破へんが波にもまれ、角が取れてガラス状の小片になったものである。販売場所は、湯島にあるねころびカフェ、上天草さんぱーる、おやつ家菓音、マルシェなどである。



(写真1) 森さんが作ったシーグラスアクセサリー

(2) 工夫

場所によってシーグラスの形が違い、湯島のシーグラスの形は丸っぽいのが多いそうだ。だから、森さんは、自然にできたシーグラスの形を生かしてシーグラスアクセサリーを作られている。シーグラスアクセサリーがすぐにこわれて、湯島の記憶がなくなってしまうと悲しいので、すぐにこわれないように強く作るのを心がけられている。



(写真2) 販売の様子

(3) 思いや願い

森さんはアクセサリーを買った人に、アクセサリーを見て天草や湯島の海を思い出してほしいという願いをもっておられる。また、シーグラスアクセサリーが湯島のことを伝える一つになるといいなという思いをもって作られている。

4. まとめ

シーグラスアクセサリーをたくさんのお店で販売されていることが分かった。自然にできた形を生かしてシーグラスアクセサリーを作っているので、買った人は、天草の海を思い出すことができると感じた。調べてみて、湯島に来た観光客の人がシーグラスを探していたらどこにあるかを教えてあげたいと思った。

省略